

佐世保市地域公共交通網形成計画進捗状況

アクションプラン対象  
 ◎: 28年度以降に事業実施  
 ●: 31年3月末新体制移行を目指した協議の中で案を作成  
 長期: 32年度以降

基本方針	施策進捗状況(平成28年度～)		AP 対象
(1) まちづくりの軸となる利便性の高い公共交通ネットワークを形成する	① 幹線・支線ネットワークの構築	i) バス路線の幹線・支線の仕分け・サービス基準設定…アクションプランに定めたバス路線のタイプ別の仕分け・役割に応じ、バス路線の区間本数をサービス基準案としてアクションプランに掲載している。平成28年度から区間本数については精査に取り組んでいるが、平成29年度からの路線再編作業の中で、更に精査を行い、再編実施計画に具体的に定めていく。【バス事業者】	◎
	② 基幹的な路線の利便性改善	i) 基幹的な路線でのダイヤ改善(運行の等間隔化等)	
	③ 市民ニーズに対応した補完的な路線の見直し	i) 補完システムの輸送サービスの改善(運行の等間隔化等)	●
		ii) 交通不便地区対策の充実(住宅地等) アクションプランで超小型バスの具体的な導入検討を行うとした日宇地区について、バス事業としてどのような形で組み込めるか検討をすすめることとしている。【バス事業者】  iii) 交通不便地区対策の充実(郊外の過疎地域など需要の少ないエリアにおいて赤字バス路線からデマンドタクシーへの転換を推進)…補完路線タイプ3の中で具体的な需要の基準(1運行あたり5人以下、かつ通勤通学利用が少数等)を対象 ・浅子線は平成28年12月末で廃止し、先行して10月3日から小佐々・浅子地区にデマンドタクシーを運行。(エコタクシー) ・上三川内線は平成28年12月末で廃止し、先行して10月3日から三川内地区にデマンドタクシー運行。(OKタクシー) ・世知原温泉線は平成29年3月末で廃止し、平成25年8月から既に世知原地区にデマンドタクシー導入済みだが、廃線に伴い新バス停を2月から設置済み。(世知原タクシー) ・上宇戸線・潜木線の柚木地区と平成29年度中のデマンド転換に向け平成28年12月から協議を開始した。(ラッキー自動車) ・上木場線については平成30年度中に転換予定。【タクシー事業者運行】	◎
④ 交通結節点の強化とそれを軸としたネットワークの形成	i) 交通結節点の整備・形成(交通結節点となる早岐駅のネットワーク機能を高める)…以下の2点の視点から検討する。 ・田子の浦におけるバスの乗継利便性の向上や江上・針尾方面から早岐駅方面への便の確保の検討を行う。【西肥自動車】  ・早岐駅周辺のまちづくりの動向を踏まえながら長期的な観点にたって今後、バス路線の再編を行う。	● 長期	
(2) 複数モードの連携により公共交通ネットワーク全体の利便性を確保する	① 鉄道ーバス、鉄道ー鉄道の連携による利便性向上	i) 鉄道とバスの乗継や競合区間の利用者選択の拡大 【西肥自動車と松浦鉄道】 ・西肥バス定期券利用者の一部対象者が松浦鉄道に半額で乗車可能となるサービスが平成28年10月より1年間の社会実験として開始。3月、4月の定期券切り替え時期が対象者へのアピールタイミングとなる。 ・佐々駅、佐々バスターミナルにおける鉄道とバスの世知原方面の連絡ダイヤの改善を4月の定例のバスのダイヤ改正時に実施予定であったが、3月に鉄道のダイヤ改正があることから、10月のバスの定期ダイヤ改正時に検討変更。	◎
		ii) 鉄道ー鉄道(JRとMR)の連携による利用促進①…観光列車の視点 平成30年に長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産登録を見据え、JR九州と松浦鉄道の相互利用を促すような方法の検討(例: 田平天主堂…JR: 特急みどり博多～佐世保、MR: レトロン号等佐世保～西田平)	
		iii) 鉄道ー鉄道(JRとMR)の連携による利用促進②…定期運行の視点 将来的に検討	
	② 多様な交通モードとの連携	iv) 佐世保駅前における乗換・乗継利便性の向上…わかりやすいサイン表示等 バスの再編作業の中でバスから鉄道・航路、鉄道・航路からバスの乗換・乗継利便性についても検討を行う。  i) パークアンドライド施設や駐輪施設等の充実・活用 松浦鉄道の相浦駅に遊休状態の駐車場があるため、黒島教会の世界遺産登録や佐世保市の旧軍港が日本遺産に登録された(MRの佐世保市内の駅等が日本遺産の構成要素である)ことを踏まえ、黒島旅客船との連携の1策として、駐車場の活用について検討中。(駐車場の必要性が高まれば事業拡大を) <<前回報告済み>>	

(3) 利便性を維持した持続可能なバス事業を実現する	① 需要と供給に見合ったサービスの適正化	i) 需要と供給に見合ったサービスの適正化	●
	② 競合区間の見直し	i) 中心市街地に乗り入れる各路線の見直しを通じた適正化	
		ii) 相浦方面の路線の見直し	
		iii) 黒髪・もみじが丘、大宮方面の路線の見直し	
	iv) その他路線の見直し		
③ 車両運行効率化のための車庫等の既存資源の利活用	i) 事業者間の営業所機能等の融通 ii) 新たな車両転回・乗務員交代等の拠点の設置…車両転回の場合として中心市街地（松浦町付近を想定）を1つの案として検討を行う。	長期	
④ 共通定期券・事業者間の乗継割引の導入	i) 共通定期券・事業者間の乗継割引の導入検討	●	
⑤ 労働力不足への対応、労働環境の改善	i) 労働力不足への対応、労働環境の改善		
(4) 公共交通の利用促進・需要創造を推進する	① 利用者・来訪者に対するわかりやすい情報提供の充実	i) 来訪者に対する情報提供の充実 転入者向けに支所管内別の公共交通案内情報を作成し、平成28年5月に各支所窓口を設置して頂いたが、転入者が増える3月に新たに配布済み。	
		ii) 地域住民・利用者等に対する情報提供・意識啓発の推進 平成28年11月20日（日曜日）に本協議会主催で公共交通ふれあいフェスタを開催し、当日限りであるがバス鉄道の1日乗り放題500円（小学生は半額）券の販売やバスや鉄道の社会科見学等を行った。《前回報告済み》	
		iii) 佐世保駅前における乗換・乗継利便性の向上（再掲）	
		iv) バスロケーションシステムの導入検討	
	② すべての人が移動しやすい環境整備	i) 低床車両の導入促進…（バス事業の経営シミュレーション作成時は導入促進費を想定） 平成28年度は西肥自動車12台及び交通局5台、両事業者合わせて17台のノンステップバスを導入した。これは通常より多い台数である。※バス運行体制一体化の調査における経営シミュレーション上の計画では今後、両事業者合わせて、毎年、11台～13台を継続して導入するものと想定している。実現すれば、市内乗合バスのノンステップバス導入率は現在の約22%から平成35年度には約60%となる予定。《前回報告済み》	
		ii) バス停の乗り降りしやすい環境の整備 平成28年6月30日に道路管理者・公安委員会・バス事業者・市で協議の場を設け、バス事業者から出された改善要望箇所について協議・情報共有を行った。今回その進捗状況の確認を道路管理者・公安委員会に行ったところ、下記のような回答だった。 ・大塔の脇崎交差点近くにある卸本町入口バス停から右折レーンへの車線変更をスムーズにするための「停止禁止区域」を設定し、運用開始した。 ・市内中心地の凸凹が激しいバス道路の路面の補修を行った。 ・平成29年度実施分も含めた継続案件に関しては、引き続き取り組む。	
③ 多様な交通モードとの連携	i) パークアンドライド施設や駐輪施設の充実・活用（再掲）		
④ ICカードの機能拡大	i) ICカードの更新を踏まえた機能拡大の検討 県内のバス事業者及び松浦鉄道で組織されるスマートカード委員会で検討中。スマートカードは地域カードでありスイカやスゴカ、ニモカ等の全国ICカードとの互換性はない。国としては2020年のオリンピックまでに互換性のあるカードの導入を推奨されている。（ポイント活用で商店との連携サービス可能）《前回報告済み》		
⑤ 地域が連携した各種利用促進策の企画・開発	i) 鉄道駅や停留所等の有効活用 ・松浦鉄道及び駅への親しみを持っていただくため、相浦駅の改修工事の一部を地域の皆さんと共同で作業を行うことを検討中。あわせて、駅構内通路へのパネル展示や待合所のベンチ作成などを近隣の小・中・高校に依頼することも検討している。黒島教会の世界遺産登録に向け、窓口駅である相浦駅の改修工事の一部補助として佐世保市の平成29年度当初予算に500万円を予算化。	◎●	
	ii) 観光・商業施策等との連携 iii) 健康・福祉施策等との連携… 長崎県立大学の学生と中心市街地の飲食店を連携させた公共交通の利用促進プランを平成28年度より実施予定であったが、協力頂く学生との調整がつかず平成29年度に実施を目指す。 【県立大学：全体コーディネイト、バス事業者：回数券の作成販売、飲食店等：プランの作成、広告・チラシ作成、回数券の購入】 ・子育て世代の公共交通の利用促進を図るため、子育て支援団体ママパパとの意見交換を行った。平成28年10月に続き、交通事業者にも参加いただき3月23日に2回目を実施。主な内容としては、①子育て世代に役立つ情報のさらなる発信、②ベビーカーでの乗車について利用しやすい環境づくりができないかといった内容で、今後も内容を詰めながら継続して取り組むこととした。		
⑥ ホスピタリティーの充実	i) 外国人来訪者等への対応…外国語標記の充実等 ・市営バスにおいて平成28年11月末から平成29年4月末にかけて、運賃表示器の液晶化に伴いバス停案内表記が日本語・英語・中国語・韓国語対応となる。現在、3分の2程度が変更済み。 ・来年度以降、MRの車内において、次駅案内表示に英字を追加。《前回報告済み》		